

# 令和4年度 事業報告

## 1 臓器提供・移植件数、角膜提供登録者(ドナー)

### (1) 臓器提供数 (単位:人)

年度	臓器	角膜	合計
H30	0	15	15
R01	0	11	11
R02	1	5	5
R03	0	6	6
R04	0	4	4
累計	16	360	—

### (2) 移植件数 (単位:件)

年度	臓器			角膜				
	県内	うち、 県外から	県外	県内	うち、 保存眼	うち、 県外から	県外	うち、 保存眼
H30	0	0	0	19	0	1	5	0
R01	0	0	0	13	3	1	5	0
R02	0	0	3	17	6	3	1	1
R03	0	0	0	10	1	0	1	0
R04	1	1	0	7	2	0	0	0
累計	26	—	—	516	—	—	—	—

### (3) 角膜提供登録者(ドナー)数

年度	登録者数(人)
H30	322
R01	309
R02	89
R03	76
R04	147
累計	28,799

注) 提供登録については、各ライオンズクラブが主体となって実施

## 2 普及啓発活動

- (1) 年度を通して、パンフレット、臓器提供意思表示カード、ポスター等を配布・掲示・掲載した。

対象…角膜提供登録者、角膜・臓器等提供施設、行政、教育機関等、ライオンズクラブ（地域イベントで配布）、ホームページ

- (2) イベント開催や出展、アンケート、パネル展示、ポスター掲示、パンフレット配布など、「グリーンリボンキャンペーン 2022 in やまぐち」として普及啓発活動を行った。

### ア 臓器移植普及推進月間周知企画展

- ① 健康づくりセンター1階ホール

令和4年10月1日から10月31日までの1月間

- ② 県庁エントランスホール

令和4年10月11日から10月20日まで

内 容 臓器及び角膜移植に関するポスターの掲示、リーフレット配置

※健康づくりセンター企画展を契機に、健康づくりセンター内にパンフレットボックスの常置が可能になり、医療施設と同様に年間を通してパンフレットや臓器提供意思表示カードを設置している。

### イ J2レノファ山口FCとのコラボ活動

ホームゲーム会場でのリーフレット等配布

実施日 令和4年10月23日（日）

場 所 山口市 維新みらいふスタジアム

内 容 臓器及び角膜移植に関するポスター等をブースに掲示  
移植医療アンケート実施 200人参加  
参加者にグリーンリボンレノ丸マスクケース 進呈

※新型コロナウイルス感染対策をレノファ山口と協議しながら実施した。アンケートの集計結果については、今後、啓発事業に取り組む際の参考とする。

### ウ グリーンライトアップの実施（山口市後援）

10月16日のグリーンリボンデー全国キャンペーンあわせ県内3か所でグリーンライトアップを行うことにより移植医療の普及・推進を図った。

- ① 山口市 新山口駅南北自由通路

日 時 令和4年10月16日（日）18時～21時

内 容 「垂直の庭」及び通路のグリーンライトアップ  
ブースを設置しポスター掲示、リーフレット配置、幟立て  
マルチディスプレイでの啓発映像の放映

- ② 下関市 海峡ゆめタワー（山口県国際総合センター）

日 時 令和4年10月10日（月）～16日（日）18時～21時30分

内 容 海峡ゆめタワーのライトアップ

- ③ 下関市 はい！からっと横丁（しものせき遊園地）大観覧車

日 時 令和4年10月16日（日）18時～22時

内 容 大観覧車のグリーンアップ  
園内にポスター掲示、リーフレット配置（10月中）

### エ 新成人及び新卒高校生へのリーフレット配布

新成人 7,795名（19市町、夏季開催の上関町含む）

公立立高等学校 10,258名（全日、定時制卒業生全員）

(3) 支援型自動販売機の設置

医療施設、社会福祉施設、企業等に移植医療の普及啓発及び当財団運営の支援（売上金の一部を寄附）のために設置いただいている。令和4年度末現在の設置台数34台、令和4年度支援額（寄付金額）1,357,056円となっており、普及啓発を含め移植医療の普及推進に大きな貢献をいただいている。

### 3 アイバンク活動

眼球提供件数は近年減少傾向となっていた中、新型コロナウイルス感染症感染拡大した令和2年より前の3年間の平均では約13人であったのに対しコロナ禍以降の3年間では5人と大きく減少し、まだ回復の兆しが見えていない。あっせん手数料はこれまで財団の運営に大きく寄与してきたことから、運営の安定化のためにはコロナ前の提供件数で推移することが望ましく、医療施設や葬儀場などの協力が重要となっている。一方で、摘出に対応いただいている山口大学医学部眼科のご負担が過大とならないよう留意して進めていく。

(1) アイバンクコーディネーター配置

兼任2名（臓器移植Co、事務局長）

(2) アイバンク症例対応（4症例）

ア 病院・葬儀場・自宅等提供施設における現地対応

病院4回（4回施設）

イ 感謝状贈呈 4回

自宅等送付 4回

ウ 葬儀参列・供花

供花 3回

エ アイバンク間角膜等あっせん

他バンクへのあっせん なし

エ レシピエント訪問

新型コロナウイルス感染拡大以降、未実施

(3) 講演活動

令和4年度は実績なし

(4) 普及啓発DVD「ヒ・カ・リ」の貸出

公益財団法人日本アイバンク協会が創立50周年を記念して作成したDVDについて、当財団ホームページにより周知するとともに、多くの団体に活用されるよう努めている。

令和4年度は利用実績なし

(5) 公益財団法人日本アイバンク協会認定サポーター講習会

日時 令和4年10月8日（土） 13時30分～15時40分

場所 山口県セミナーパーク 大研修室

出席者 56名

内 容 講演「角膜移植とアイバンク活動」

日本アイバンク協会 常務理事 山口大学名誉教授 西田輝夫

(6) 会議・研修会等出席 (WEB)

第45回全国アイバンク連絡協議会 (2月)

#### 4 臓器移植コーディネーター活動

医療機関においてご家族の臓器提供の意思を把握し実現できる院内体制整備の構築に向け、マニュアル改訂、シミュレーションを行った。

また、県内における臓器提供症例時対応はなかったが、主として中国四国地区での症例に対して支援を行った。

県民への普及活動では、出前講座やイベントを通し移植医療の知識の習得と意思表示・家族と話し合うことの必要性について啓発した。

なお、臓器移植コーディネーターの活動資金として、山口県補助金及び公益社団法人日本臓器移植ネットワーク「都道府県支援事業助成金」を受けている。

(1) 移植コーディネーターの配置 1名 (平成28年4月から常勤配置)

(2) 症例対応

ア 現地対応 (県内2症例 (不成立) 隣県支援 10症例)

(ア) 家族対応 4件

(イ) 外回り対応 2件

(ウ) 手術室対応 2件

(エ) 臓器搬送 2件

イ ドナー情報

8件 (アイバンクコーディネーターを兼務のため献眼のみの情報を含む。)

ウ ドナー家族訪問 なし

(3) 提供施設院内体制整備支援

ア 山口県院内コーディネーター活動支援

(ア) 設置施設数 21施設

山口県院内コーディネーター数 124名

(イ) 第1回移植医療関係者研修会

日 時 令和4年7月29日 (金)

方 法 Web (カリエンテ山口)

対 象 移植医療に関わる医師、院内Co等

参加者 91名 (医師、看護師、検査技師、社会福祉士、事務)

座 長 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学

教授 永野 浩昭

内 容 講演『移植医療における脳神経外科・救急医の役割』

浜松医療センター救急救命センター 水谷敦史

講演『ドナー家族が考えたこと』 ドナー御家族

院内Co活動計画

(ウ) 5類型施設研修会

日 時 令和4年11月30日 (金)

方 法 Web (カリエンテ山口)

対 象 5 類型施設の医師、院内 Co 等  
 参加者 73 名（医師、看護師、検査技師、社会福祉士、事務）  
 座 長 山口大学大学院医学系研究科 救急・総合診療医学  
 教授 鶴田良介  
 内 容 講演『臓器提供を見据えた患者評価・管理と術中マニュアル』  
 長崎大学病院 高度救急救命センター 教授 田崎 修  
 講演『臓器提供を経験して～患者・家族、そしてスタッフから教  
 わった大切なこと』  
 岡山大学病院 脳神経外科・内科病棟看護師長 加藤 湖月

(エ) 第 2 回移植医療関係者研修会

日 時 令和 5 年 2 月 1 0 日（金）  
 方 法 W e b（カリエンテ山口）  
 対 象 移植医療に関わる医師、院内 Co 等  
 参加者 78 名（医師、看護師、検査技師、社会福祉士、事務）  
 座 長 山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学  
 教授 永野 浩昭  
 内 容 講演『日本における臓器提供の現状と臓器移植法ガイドライン改  
 正について』  
 （公社）日本臓器移植ネットワーク 佐藤 真歩  
 講演『終末期医療の先に救われる人たちがいる』  
 京都府立医科大学 移植一般外科  
 厚生労働省健康局難病対策課移植医療対策推進室  
 吉川 美喜子

院内コーディネーター活動報告

イ 提供施設体制整備支援

院内コーディネーター設置の 21 施設に対して、臓器提供マニュアル・フローチャートの作成・見直し、シミュレーションの実施、院内コーディネーター会議・委員会の出席、小児体制整備等の支援を実施。

また、家族申し出のきっかけ作りを目的とした施設掲出用ポスター（2 種類、情報提示と同様の内容のもの）並びに臓器移植法運用ガイドラインの改正に伴い令和 3 年度に作成配布した臓器提供適応判断クリップ付バインダーの適応判断シールの修正版を作成し、院内コーディネーター設置施設に配布した。

施設訪問 47 回 院内コーディネーター会議・委員会  
 院内研修会  
 臓器提供シミュレーション  
 マニュアル改訂

(4) 関係機関連携体制整備

- ア 県内腎臓移植施設 3 施設
- イ 山口県警察本部、山口県地域消防本部、各消防署
- ウ 山口県防災危機管理課、山口県消防防災航空センター
- エ 山口県こども家庭課、各児童相談所
- オ 山口県医療政策課
- カ 山口県腎友会、透析施設

(5) 講演活動

- ア 医療系専門教育 2施設 2回
- イ 高等学校 3校
- ウ 中学校 1校  
(ア～イの講演において講演前、講演1週間後でアンケート実施)
- エ ロータリークラブ卓話 1回
- オ 一般企業 1回
- カ 関係機関(警察・消防等) 2機関

(6) 普及啓発活動

- ア 提供施設、健康福祉センター、県庁エントランスホールにおけるパンフレット・ポスター・臓器提供意思表示カード配備
- イ 高等学校卒業生、新成人パンフレット配布
- ウ グリーンライトアップ会場におけるブースの設置
- エ レノファ山口FCイベントでのアンケート(グリーンリボンレノ丸マスクケース進呈)
- オ ライオンズクラブイベント

(7) 会議及び研修会出席

- ア 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク関係(WE B)
  - 都道府県臓器移植コーディネーター連絡会議等 2回
  - 中国四国地区コーディネーター会議 4回
  - JOTB級研修会 2回
  - JOT普及啓発研修会 1回
  - 都道府県コーディネーターミーティング 1回
- イ 隣県事業支援(WE B)
  - 院内Co研修会(鳥取、千葉、各2回) 4回
- ウ 学会、会議等
  - 日本救急医学会中国四国地方会(5月)
  - 日本組織移植学会・コーディネーター認定セミナー(8月)
  - 日本移植学会(10月)
  - 山口県臓器移植推進会議(8月、WE B)
  - 熊本県民公開講座(10月)

## 5 会議の開催

(1) 理事会

ア 通常理事会

(ア) 令和4年度第1回通常理事会

- 日 時 令和4年6月1日(水)午後7時から午後8時20分
- 場 所 山口県婦人教育文化会館(カリエンテ山口)第1研修室  
ハイブリッド方式
- 出席者 理事10名 監事2名 事務局3名(オブザーバー含む。)
- 議 案 令和3年度事業報告(案)について  
令和3年度収支決算(案)について  
定款の一部変更(案)について

定時評議員会の開催（案）について  
理事の選任候補者の提案について

(イ) 令和4年度第2回通常理事会

日 時 令和5年3月24日（金） 午後7時から午後7時40分  
場 所 山口県婦人教育文化会館（カリエンテ山口）第1研修室  
ハイブリッド方式  
出 席 者 理事11名 監事2名 事務局3名(オブザーバー含む。)  
議 案 令和4年度補正予算（案）について  
令和5年度事業計画（案）について  
令和5年度収支予算（案）について  
基本財産の処分（案）について

(ウ) 令和4年度第1回臨時理事会（みなし決議）

決議年月日 令和4年6月20日  
議 案 理事選任候補者（案）について

(エ) 令和4年度第2回臨時理事会

日 時 令和4年6月21日（火） 午後8時から午後8時15分  
場 所 山口県婦人教育文化会館（カリエンテ山口）第4研修室  
ハイブリッド方式  
出 席 者 理事12名 監事1名 事務局3名(オブザーバー含む。)  
議 案 代表理事の選定について  
常任理事の選定について

(2) 評議員会

ア 定時評議員会

日 時 令和4年6月21日（火） 午後7時～午後7時40分  
場 所 山口県婦人教育文化会館（カリエンテ山口）第4研修室  
ハイブリッド方式  
出 席 者 評議員12名 監事1名 理事長 事務局3名(オブザーバー含む)  
議 案 理事の選任（案）について  
令和3年度収支決算報告（案）について  
定款の一部変更（案）について